

## 館内施設のご紹介

**美術情報センター** 全国の展覧会案内や、美術関係の図書閲覧、映像ソフト鑑賞など無料でご利用いただけます。

**レストラン** 80席あるゆとりの空間で、各特別展をイメージしたフランス料理をお楽しみください。

**カフェ** オープンテラスもあり、お飲み物のほかサンドウィッチなど軽食やケーキもご用意しています。

**ミュージアムショップ** 当館のオリジナルグッズやポストカード、美術図書などを販売しています。

## 各種催しのご紹介

美術館をさらに楽しく利用いただくために、当館では展覧会以外にも以下のような各種催しを実施しています。

**講演会** 美術鑑賞をさらに深めていただくために、展覧会関連の講演会を開催しています。また、年2回開催するKEN-VI文化セミナーでは、著名な文化人をお招きした講演会を開催しています。

**ガイドツアー** 金・土・日曜日の午後1時から、ミュージアムボランティアによるコレクション展のガイドツアーを行っています。(コレクション展開催期間中：無料/内容により要チケット)

**解説会** 日曜日の午前11時から、ミュージアムボランティアによる特別展の解説会を行っています。(特別展開催期間中：無料)

**美術講座** 自分でも作品づくりをしてみたい方のための実技講座を実施しています。

**子どものためのプログラム** 展覧会鑑賞と制作を組み合わせたワークショップやおやこ向けの解説会などを、1ヶ月に1~2回行っています。

**映画会** ミュージアムホールで、1ヶ月に1回程度劇場映画上映会を行っています。

**コンサート** 館内の様々なスペースを利用した多彩なコンサートを週末に(年間約50回)開催しています。

※くわしい内容やスケジュールについては、当館の情報誌「HART」やホームページ、催しごとのご案内をご覧ください。

### 表紙 舟越桂《消えない水滴》1986年

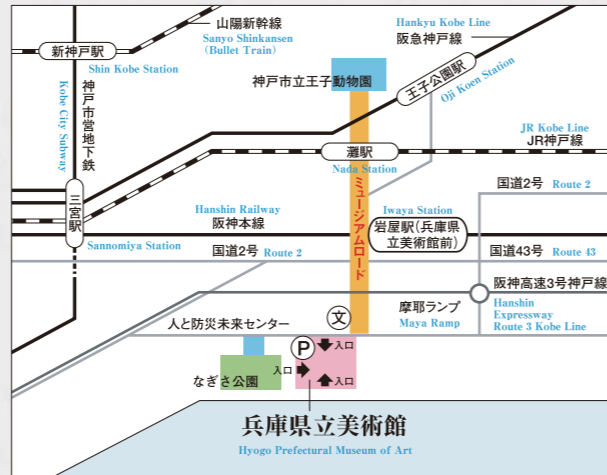
彩色を施した木彫像。材料には楠を用いる。のみ跡の残る表面は、なめらかな部分もあり、変化に富む。目には大理石の玉眼が入れられている。うつろな眼差しは、何を見ているのだろうか。はるか遠くか、あるいは自分の心の奥深くか。現代具象彫刻の第一人者・舟越桂の典型的な作風をしめす佳品。

## 美術館ご利用案内

■開館時間  
午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)  
夜間開館 特別展開催中の金・土曜日  
午前10時~午後8時(入場は午後7時30分まで)

■休館日  
月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月31日、1月1日)  
メンテナンス休館(12月25日~12月30日)

■観覧料金  
●特別展 展覧会によって異なります。  
●コレクション展(常設展)  
一般/500(400)<300>円  
大学生/400(320)<240>円  
高校生・65歳以上/250(200)<150>円  
( )は20名以上の団体、< >は特別展セット割引料金です。  
※ 中学生以下無料。  
※ 障害のある方及びその介護者(1名)は各観覧料金の半額になります。(65歳以上を除く)



■交通アクセス  
電車 ○阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南へ徒歩約8分  
○JR神戸線灘駅南口から南へ徒歩約10分  
○阪急神戸線王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分  
バス ○JR三ノ宮駅から、阪神バス「HAT神戸行」、神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ。  
車 ○阪神高速3号神戸線「摩耶ランプ」から「摩耶ランプ南」交差点を西へ。「摩耶ランプ」から約5分。  
○国道2号線から「岩屋中町4」交差点を南へ。  
○地下有料駐車場 乗用車80台  
○団体バス待機所 要事前予約

兵庫県立美術館「芸術の館」  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1  
TEL 078-262-0901 FAX 078-262-0903  
http://www.artm.pref.hyogo.jp/

## 兵庫県立美術館 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

### 開館10周年

〈平成24年度〉

## 展覧会のご案内

2012.4 ▶ 2013.3

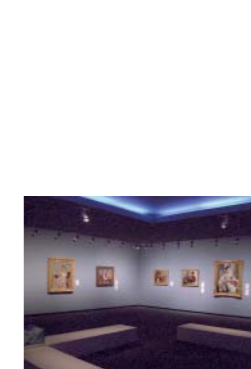


舟越桂《消えない水滴》1986年

# Exhibition Guide

## 小磯良平記念室・金山平三記念室(常設展示室2階)

神戸に生まれた近代日本洋画を代表する小磯良平、金山平三の2人の画家の記念室を展示棟2階に設けています。年間を通じてそれぞれ代表作を中心に20数点を展示しています。



小磯良平記念室



小磯良平《斉唱》1941年

本年度の金山平三記念室では、特別展「金山平三展」で紹介しきれなかった金山平三の側面をテーマに応じてご紹介いたします。



金山平三《漁村油戸(庄内)》1957年



金山平三記念室

## 安藤忠雄コーナー「震災復興プロジェクト」(常設展示室1階)

当館は2002年に阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして開館しました。このコーナーでは、当館の建築設計を担当した安藤忠雄建築研究所から寄贈された建築模型・資料類により、当館および近隣のプロジェクトを紹介しています。





Calendar grid for 2012 (April to March) and 2013 (January to March). Includes dates and day abbreviations (SUN, MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT).

特別展

日本の印象派・金山平三 移りゆく時間の中で描く日本の風景 Kanayama Heizo: A Retrospective 4月7日(土)~5月20日(日) 当館の開館10周年を記念して、神戸出身の洋画家金山平三(1883-1964)の回顧展を開催します。

カミーユ・ピサロと印象派 -永遠の近代 Camille Pissarro: Patriarche de la modernité 6月6日(水)~8月19日(日) フランス印象派の最年長であり、第1回から第8回まで全ての印象派展に参加した唯一の画家、カミーユ・ピサロ(1830-1903)。

バーン=ジョーンズ展 Edward Burne-Jones 9月1日(土)~10月14日(日) 19世紀後半のイギリスを代表する画家エドワード・バーン=ジョーンズ(1833-1898)。中世文学や古代神話を源泉とする彼の作品は、甘美な幻想と豊かな色彩に満ちています。

現代絵画-学芸員の眼(仮称) The Contemporary Paintings through the Curator's Eye 10月27日(土)~12月24日(月・振休) スタイルの確立した中堅から、いま注目の若手まで、関西で活躍する作家をはじめとする十数人による絵画及び絵画的な手法を取り入れた作品を展覧します。

フィンランドのくらしとデザイン -ムーミンが住む森の生活 The Essence of Finnish Design and Culture 2013年1月10日(木)~3月10日(日) 世界中で愛されているキャラクター、ムーミンをガイド役に、フィンランドの近代美術とモダンデザインを紹介する展覧会。

大河原邦男展(仮称) Okawara Kunio 2013年3月23日(土)~5月19日(日) 機動戦士ガンダムやタイムボカンシリーズ ャッターマンなどのアニメに登場するロボットやメカをデザインした大河原邦男(1947-)の仕事をご紹介します。

いわさきちひろ展 ~母のまなざし・子どもたちへのメッセージ~ 3月31日(土)~5月6日(日) 会場:当館ギャラリー棟3階 絵本画家いわさきちひろ(1918-1974)の世界を、四季折々の子どもたちの姿を描いた水彩や復元したアトリエなどで紹介します。

日カタール国交樹立40周年 カタール国 パール展(予定) 7月28日(土)~10月14日(日) 会場:当館ギャラリー棟3階 カタール国が所有する真珠を使った歴史的な宝飾品をはじめ、真珠の歴史を紹介します。

2012県展 8月4日(土)~25日(土) 会場:原田の森ギャラリー 本館2階大展示室 兵庫県内で美術制作に励む方々の発表の場として続いてきた公募展です。

チャンネル3 河合晋平展 11月27日(火)~12月24日(月・振休) 会場:当館アトリエ1 旬の作家を紹介するシリーズ。今回は樹脂や身近な素材で幻想的な世界を創り出す河合晋平(1971-)を紹介します。

コレクション展(常設展)

コレクション展 I 3月24日(土)~6月24日(日) 特集 美術をみる8つのポイント How to Look at Modern & Contemporary Art 近現代美術を見るうえで役に立つ8つの鑑賞のポイントを問いかねながら、これに沿ってコレクションの主要作品を楽しくわかりやすく紹介します。

コレクション展 II 7月7日(土)~11月4日(日) 小企画 美術の中のかたち一手で見る造形 Form in Art-Touch and Sense the Piece 祐成政徳展 Sukenari Masanori 毎年恒例の本展では、視覚中心の鑑賞に再考を促す試みをしてきました。今回は、造形作家、祐成政徳(1960-)のインスタレーション作品を展示します。

コレクション展 III 11月17日(土)~2013年2月24日(日) 小企画 小幡正雄展 Obata Masao Retrospective 岡山県出身の小幡正雄(1943-2010)は、日本を代表するアウトサイダー・アート/アール・ブリュットの作家として国内外で高い評価を受けています。

2013年度コレクション展 I 2013年3月9日(土)~ コレクション展(常設展) 当館では、前身である近代美術館時代から約40年にわたり、国内外の彫刻、版画のほか兵庫県ゆかりの作家を中心に、日本の近現代美術を収集してきました。